

戸籍の窓

【11月 1日～ 11月30日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(長沼 貴也)	荒砥甲
(川部 夏実)	萩野
(小野寺 俊顕)	荒砥乙
(大貫 美穂)	荒砥乙

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥乙	竹田 智洋 洋子	ゆうし 侑史
畔藤	菅原 直樹 旬子	はやあ 颯人
荒砥乙	菅原 喜郎 綾子	あんじゅ 杏珠

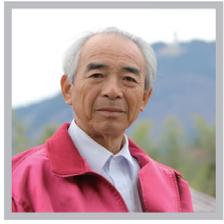
おくやみ

住所	氏名	年齢
高玉	五十嵐 きの	95
十王	松野 しん	91
菖蒲	川村 しん	90
山口	高石 邦彦	70
広野	鈴木 和子	83
鮎貝	佐藤 きく	94
畔藤	中嶋 芳明	86
荒砥甲	長谷部 貞次	89
畔藤	菅間 芳明	49
畔藤	菅間 三男	87
高玉	小椋 かよ子	57
高玉	古瀬 昭五郎	88
横田尻	芳賀 節子	84
黒鴨	佐藤 辰次	87
広野	上野 肇	88
佐野原	竹田 一子	85
下山	木村 ちよ子	90



「絶景ポイント 萩野大日堂」

萩野の庭渡大日堂は、写真撮影絶景ポイントである。白鷹山がバックに映え、茅葺き屋根のお堂は、昔ながらの懐かしい風景である。夏の紅花の季節、花いっぱい畑と大日堂、冬の墨絵のような雪に埋もれたお堂、秋のお祭り、一瞬の輝きと俳諧のわびさびにも通じる趣がある。



小川 敏昭 さん

この大日堂は、江戸時代の初期、川部家のご先祖が氏神として庭渡大権現を祀ったと言われ、その後、火災に遭い、現在のお堂は、江戸時代末期1832年に再建されたもの。神仏混交で祀られていたが、明治の神仏分離令により大日堂別当泉福寺として、大日如来を祀る。400年前より伝わる勇壮な親子獅子舞が、8月14日の大日堂祭礼に奉納されている。

しらたか旅先案内人さんによるワンポイントガイド

「SHIRATAKA RED」のロゴマークが決定



第16回山形ふるさとCM大賞の白鷹町作品のテーマとなった「SHIRATAKA RED」は、紅花生産日本一を誇る白鷹町の「紅（あか）いもの」（ミニトマトや赤すももわいん、リンゴ、もみじ鮎、登り窯の炎など）を集めて名付けた、「日本の紅（あか）をつくる町」白鷹町をPRしていくブランドです。

↑赤に白い文字、白い鷹のシルエットが特徴的なロゴマーク



今回、白鷹町の観光交流大使であり、「SHIRATAKA RED」の発案者である青木実（あおきまこと）さんにロゴマークのデザインを依頼し、決定いたしました。

このロゴマークの利用については、『白鷹町「日本の紅（あか）をつくる町」連携推進本部』などで検討し、白鷹産物のPRに活用してまいります。

■問い合わせ 白鷹町産業振興課観光交流係 ☎85-6126

第16回山形ふるさとCM大賞 優秀賞受賞



山形テレビ主催の「山形ふるさとCM大賞」において、白鷹町の「みんなで作る白たかの紅（あか） シラタカ・レッド」が優秀賞を受賞しました。テンポの良いサンバのリズムに合わせて、生産者や関係者が楽しく自由に踊り、シラタカ・レッドはみんなで作る白鷹の紅（あか）であることを表現しました。

作品は、山形テレビで年間180回放送されます。また、町のホームページでもご覧いただけます。



▼今年も開催されたCM大賞。公募の結果、応募がなかったため、今年は町内の紅（あか）に関する皆さんと一緒に制作しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

▼今月号の表紙は高玉芝居。少しでも迫力をあ伝えたくて、横になりました。首ではなく、広報誌を回転させてご覧ください。（てづか）

戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年係にお申し出ください。

広報しらたかは再生紙を使用しています。